

基礎情報

苗字 名前	アルファベット表記	カタカナ表記	所属部署名 (学部)	職名	学位 (名称) (大学名)
千葉 陽子	CHIBA Yoko	チバ ヨウコ	福祉環境学部	教授	学士 (体育学) (日本女子体育大学)

教育研究活動についての自己紹介

自分の活動についての自己紹介

日本体育協会スポーツ医・科学研究班の研究者として、バドミントン競技のオリンピック選手を初めとするナショナルチームメンバーを対象に競技力向上に関する各種測定研究を行ってきました。
2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、生涯スポーツの重要性とパラリンピック・パラリンピアンへの社会的認知度を高めるパラリンピック教育を人間社会の健康と福祉との関わり方と連携させて探求しています。

研究分野

分野（大分類）	分科（小分類）	細目	キーワード
複合領域	健康・スポーツ科学	スポーツ科学	生涯スポーツ・ 障がい者スポーツ

資格・免許等

取得年月日	取得免許・資格名
2008/08/01	障がい者スポーツ指導員 中級資格
2004/04/01	生涯スポーツ論教授資格 (福祉環境学部)
2003年9月	生涯スポーツ論教授専任資格合格 (大学設置・学校法人審議会 教員資格審査)
1998/04/01	現代スポーツ論助教授資格 (経済学部)
1995/04/01	体育実技専任講師資格 (経済学部)
1994/12/01	体育実技専任講師資格合格 (大学設置・学校法人審議会 教員資格審査)
1977/03/01	中学校教諭一級普通免許状 (保健体育：東京都教育委員会)
1977/03/01	高等学校教諭二級普通免許状 (保健体育：東京都教育委員会)

学歴

卒業年月	大学名	学部名	学科等	(国名)
1977/03/01	日本女子体育大学	体育学部	体育学科	

経歴

就業開始年月	就業終了年月	大学名	学部・学科名等	肩書等
2004/04/01	現在	東日本国際大学	福祉環境学部	教授
1998/04/01	2004年3月	東日本国際大学	経済学部	助教授
1995/04/01	1998/03/01	東日本国際大学	経済学部	専任講師
1994/04/01	2000/03/01	日本体育協会	スポーツ医・科学 研究班	研究員 (オリンピック選手・ ナショナルチーム対象)
1992/04/01	1995/03/01	いわき短期大学		助教授
1985/10/01	1992/03/01	いわき短期大学		専任講師
1983/09/01	1985/09/01	河合楽器体育事業部		体育講師
1977/04/01	1982/03/01	カワサキラケット 株式会社	広報部広報課	バドミントン選手
2007/04/01	現在	いわき明星大学	薬学部	非常勤講師
2007/04/01	現在	放送大学	教養学部	非常勤講師

委員歴

開始年月	終了年月	団体名	委員名	区分	特記事項
2003/04/01	2009/03/01	いわき市スポーツ振興 審議会	委員	自治体	
2003/04/01	2008/03/01	いわき市体育協会	常任理事	自治体	
2002/04/01	2008/03/01	いわき市生涯学習推進 本部会議	委員	自治体	
1999/04/01	2000/03/01	(財) 日本バドミントン 協会	トレーニング研究部 委員	その他	
1995/04/01	1997/03/01	(財) 日本バドミントン 協会	科学委員会委員	その他	
1994/01/01	1996/03/01	いわき市体育施設整備 構想策定調査検討委員会	委員	自治体	
1993/04/01	1994/03/01	いわき市サイクルパーク 建設基本構想策定調査 検討委員会	委員	自治体	
1992/04/01	1997/03/01	いわき市体育協会	常任理事 兼国体専門委員	自治体	

受賞歴

受賞年月	授与機関	賞名	タイトル	受賞者名 (グループ名)
1991/10/01	日本バドミントン協会	会長賞		千葉陽子
1991/07/01	いわき市体育協会	優秀選手賞		千葉陽子
1988/08/01	東北バドミントン連盟	東北総合体育大会 3年連続優勝表彰		千葉陽子
1983年7月～1989年6月	福島県バドミントン協会	最優秀選手賞		千葉陽子
1978/12/01	埼玉県バドミントン協会	優秀選手賞		千葉陽子
1973/07/01	福島県バドミントン協会	最優秀選手賞		千葉陽子

業績（論文）

掲載年月	タイトル	雑誌名	巻	号	開始ページ	終了ページ	査読の有無	招待の有無	記述言語	掲載種別
2012/10/01	ウェーブレット変換を用いた心電図R-R間隔変動スペクトル解析による思考ストレス測定	東日本国際大学研究紀要	18	1	75	80	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
2011/03/01	ウェーブレット変換を用いた心電図R-R間隔変動スペクトル解析	東日本国際大学研究紀要	16	1	1	15	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
2003/01/01	Religious Problem in Organ Donation	東日本国際大学研究紀要	14		137	143	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
2002/03/01	先端医療の倫理と論理	東日本国際大学研究紀要	7	2	95	120	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1999/03/01	17 臨死体験の現象学 －生と死の人間学に向けて－	東日本国際大学研究紀要	5	1	85	106	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1998/09/01	実存が分泌する死の意識 －生と死の人間学に向けて－	東日本国際大学研究紀要	4	1	165	190	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1998/01/01	生と死の博物学 －生と死の人間学に向けて－	東日本国際大学研究紀要	3	2	121	142	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
2000/03/01	日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ：競技種目別競技向上に関する研究；ダブルスゲーム中の心拍変動からみたパフォーマンスレベル向上について	(財) 日本体育協会	23	20	235	243	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1998/03/01	13 日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ：競技種目別競技向上に関する研究；Ⅱ バドミントン選手の体型比較	(財) 日本体育協会	21	10	123	129	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1998/03/01	日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ：競技種目別競技向上に関する研究；Ⅰ バドミンントンの試合中の心拍数について	(財) 日本体育協会	21	10	121	123	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1997/03/01	日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ：競技種目別競技向上に関する研究；Ⅱ バドミントン選手の視機能調査について。	(財) 日本体育協会	20	11	134	137	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）
1997/03/01	日本体育協会スポーツ医・科学研究報告No.Ⅱ：競技種目別競技向上に関する研究；Ⅰ バドミントン全日本代表女子選手の心理的特長－バーンアウト傾向、ストレッサー、ソーシャルサポート、風景画から見た特徴－。	(財) 日本体育協会	20	11	127	134	有		日本語	研究論文（大学、研究機関紀要）

担当経験のある科目

科目名	教えた機関（大学名）
生涯スポーツ論	
障がい者スポーツ論	
スポーツ科学演習	
障がい者スポーツ実技	
スポーツ実技	
健康・スポーツ	
レクリエーションスポーツ	
スポーツボランティア	

所属学会・協会等

所属学協会名
日本体育学会

その他

タイトル	内容
全日本総合バドミントン大会 選手権大会	1973年～1993年の間、全日本総合バドミントン大会 選手権大会出場を重ねる。
日本バドミントン ナショナルチームメンバー 日本リーグメンバー (カワサキラケット)	日本バドミントンナショナルチーム（通算5年）・ ユーバ杯（世界選手権）代表候補選手・ 日本リーグメンバー（カワサキ）として出場 全日本個人優勝5回・日本リーグ優勝・ワールドカップ出場・ 日本中国および日本西独対抗戦日本代表・ 国体優勝2回（15回出場）・ 東北および関東ブロック優勝多数 （1973年～1994年3月）